

東青山小学校区

コミ協だより

会長挨拶

～今年の七夕に寄せて～

東青山小学校区コミュニティ協議会 会長 風間 一夫

1年に一度、7月7日の夜、牽牛星が織姫星に会いに来るという七夕祭り。ささ竹に願いを書いた短冊を飾り、【芸の上達】を祈る星まつりでもあります。

さて、皆様の地域でも、1年に1度くらいなのに、とても大切に思っていることなどはありませんか？ワクワクしたり、また新鮮な気持ちになったり…。

これを機会に皆さんも一緒に考えてみませんか？今日という日は明日以降には来ないと思って、今日の24時間を見から大切に過ごしましょう。



東青山小学校の子どもたちの願いも様々です。



東青山まちづくりセンターの前にも
七夕飾りが飾られました。



祝！イオン新潟青山店 リニューアル10周年記念祭

社会福祉活動への協力事業

フリーマーケットを開催しました

4月17日(月)

コミュニティ協議会の活動拠点として日頃お世話になっている“イオン新潟青山店”様がリニューアルオープンから10周年を迎えました。この記念祭に合わせ、コミュニティ協議会はフリーマーケットを開催いたしました。

フリーマーケット開催当日は、開店時間前からたくさんの方々にお集まりいただき、大変な賑わいとなりました。当日の売上48,425円は、全額、日本赤十字社新潟市西区地区(水野地区長様)へ寄付をさせていただきました。

今回の開催に当たり、準備から当日の販売までご支援、ご協力いただいた多くの地域の皆様方、そしてイオン新潟青山店大久保店長様ならびに社員の皆様方に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



●コミュニティ協議会とは

政令指定都市のスタートに合わせてつくられた地域交流組織です。地域と行政とで互いに良いアイディアを出し合って“住みよいまちづくり”を考えていく組織です(協働のまちづくり)。そのため、これまでの地域組織の多くがコミュニティ協議会メンバーになりました。

●現メンバー

各自治会・東青山小PTA・民生委員児童委員協議会・交通安全推進協議会・東青山小区防犯協会・東青山小区自主防災会・東青山地区社会福祉協議会・東青山楽園キッズ・スポーツ振興会・老人クラブ平島長生会・イオン新潟青山店

皆様へご報告

令和5年度下記の総会を実施しました

4月22日(土) 東青山小学校体育館

- ・東青山小学校区コミュニティ協議会
- ・東青山小学校区交通安全推進協議会
- ・東青山地区社会福祉協議会



5月27日(土) 東青山小学校体育館

- ・東青山小学校区防犯協会
- ・東青山小学校区自主防災会



各総会において、令和4年度の報告、令和5年度事業計画(案)を提案いたしました。
それぞれの議案について承認をいただきました。

東青山小学校区の諸問題を、水野区長と話合いました。

区政懇談会

6月17日(土) 東青山小学校体育館

提出された
地域課題

- ①空き家・空地の問題について
- ②交番の設置について検討を

②交番の設置について検討を

東青山小学校区は「浦山交番」と「小新交番」とに挟まれた地域であり交番が設置されていない地域です。交番の設置を強く要望します。



現状

～地域の安心安全のために～

東青山小学校の子どもたちの登下校を見守るセーフティスタッフ、地域の安全パトロールを行う東青山小学校区防犯協会、また一部自治会においては、日常的に地域の見守り活動を行っています。

また今年度から、小針・青山・東青山小学校区をモデル地区として、「地域の見守りアプリ(児童対象)」の活用がスタートしています。

令和5年度 新自治会長ご紹介

青山新町第2自治会

長谷川 政男

サーパス青山遊園自治会

東條 英明

東青山2丁目自治会

嘉代 厚子

サーパス青山自治会

諸橋 幹彦

白鳥団地自治会

神田 健一

令和5・6年度 東青山小学校区コミュニティ協議会

会 副 会	長 長	風 山	間 崎	一 遼	夫 (再)
"	旭	羽	下	好	子 (再)
事 務 局	長 長	小 柳	光	子 (再)	
事 務 局	次 長	源	川	信	栄 (再)
会 計 部	長 長	風	間	睦	子 (再)
青 少 年 育 成 部	会 長	川	村	弥 太 郎	(新)
福 祉 部	会 長	及	川	哲	(再)
生 活 環 境 部	会 長	小	林	孝	(再)
安 全 部	会 長	佐	野	貞	幸 (再)
文 化 ス ポ ツ 部	会 長	高	橋	直	子 (再)
广 報 部	会 長	中	山	均	(新)
会 計 監 事	"	霜	鳥	一	(新)
事 務 局	員 小	柳		武	(再)

編集後記

東青山地区の高齢者率は26.4%!

東青山小学校の5年生は福祉について学んでいます。実は核家族が多いこの地域、祖父母と一緒に生活しているという児童は69人中9人という少なさです。

認知症サポーター養成講座の受講や、民生委員の川村会長の言葉から“歳をとるということ”について考えました。歳をとっても、自分らしく過ごすための相談先が地域にあることを知りました。この視点こそが、地域福祉の第1歩となると思います。

(広報部会 高橋直子)

※コミ協主催事業の詳細についてはコミュニティ協議会事務局までお問い合わせください。

電話・FAX 025-231-9377 (毎週水曜日・金曜日の13時~16時頃まで事務局員が常駐)